

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 最終)

呉中央中学校区 校番 13 学校名 呉中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	適切です。 生徒達が家庭学習を取り込む環境を作りにくく評価が下がっている ので少々心配です。 目標、指標とも十分に検討されていると思います。特に学力調査が 十分にされ、目標設定の8%は大変難しいと思いましたが、よく挑戦 されたと思います。 どの目標もとても大切なことだと思う。
目標達成のための方策の適切さ	A	適切です。 なかなか家庭学習を進めてなく、この結果になっている。 過去の実績及び目標を参考にされ、十分検討されていると思いま す。 「話し合いのススメ」を活用して自分の考えや議論をする事の難し さ、大切さを身に付ける手助けになる。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	適切です。 やはり家庭学習の目標達成率が大きく下回っている事が残念です。 家庭学習の達成率があまり良くないので分析後、改善策に活かして ほしい。 家庭学習の習慣化がC評価だが、目標時間が達成されてないから でしょうか。
今後の改善策(案)の適切さ	A	適切です。 安心できる居場所がある生徒が76%いることは、学びや基本的生 活習慣を継続的に取り組んでいるので大変良いと思います。 十分に改善策が示されているので実行に移行され、今後活かして ほしい。 遅刻をする生徒が多いのに驚きますが家庭にも問題があるのでは。
その他		業務改善が「A」、これが一番素晴らしいです。成果だと思います。ぜひこれ が続くことを願っています。教職員がやりがいを持ち、元気であること、これ が児童、生徒、保護者にとってもコロナ禍の光です。無理せず前を向いてか んばってください。 先生方はよく頑張っています。ますますの努力をお願い致します。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受け ての今後の改善策	相互授業研究を深め、生徒の思考を促す授業づくりを行っていく。 学力調査等の分析を継続し、学習における課題克服のための対策を検討し ていく。 家庭学習の達成率の向上、学習の習慣化を図るため、計画的な学習計画 の立て方の指導を適宜行い、ICT等を活用して主体的に学習に取り組める ような課題の精選を図る。 メディアコントロールや遅刻については、特に保護者と連携を図り、生徒の 実態を定期的にお伝えするとともに、取組への理解を促して家庭での協力を お願いする。
------------------------	---